

項目 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : OASIS CLEAN ESCAPE

他の特定手段 : 該当せず

推奨用途 : 除菌・消臭剤

使用上の制限 : 業務用

希釈製品情報 : 3.125 % - 9.375 %

会社情報 : Ecolab Inc.
370 N. Wabasha Street
St. Paul, Minnesota USA 55102
1-800-352-5326

緊急電話番号 : 1-800-328-0026 (US/Canada), 1-651-222-5352 (outside US)

作成日 : 06/18/2015

項目 2. 危険有害性の要約

GHS分類

原体

眼への刺激 : 区分2A

使用濃度での製品

危険な物質や混合物ではありません。

GHSラベル要素

原体

絵表示



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼刺激。

注意書き : **予防:**
取扱い後は皮膚をよく洗うこと。保護眼鏡／保護面を着用すること。
処置:
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

使用濃度での製品

注意書き : **予防:**

安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

取り扱い後は手をよく洗うこと。

処置:

気分が悪い時は、医師の診断 / 手当てを受けること。

保管:

地域の規則に従い保存する。

原体

他の危険有害性 : 知見なし。

項目 3. 組成及び成分情報

原体

化学物質・混合物の区別 : 混合物

| 化学名 | CAS番号 | 含有量 (%) |
|-------------------------------------|------------|---------|
| ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル Fragrance | 68551-12-2 | 5 - 10 |
| キシレンスルホン酸ナトリウム | 非公開 | 1 - 5 |
| | 1300-72-7 | 1 - 5 |

使用濃度での製品

危険有害成分ではない

項目 4. 応急措置

原体

眼に入った場合 : 直ちにまぶたの下も含め十分な水で、少なくとも15分間洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗浄すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。

吸入した場合 : 症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。

応急措置をする者の保護 : 曝露の危険がある時は、個人用防護具に関する第8章を参照すること。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

最も重要な症状および作用、急性および後発性 : 健康への影響と症状の詳細については、項目11 を参照。

使用濃度での製品

眼に入った場合 : 多量の水で洗浄すること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗浄すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。

吸入した場合 : 症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。

安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

項目 5. 火災時の措置

原体

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 引火性または燃焼性はない。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物
- 消火を行う者の保護 : 保護具を使用する。
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。

項目 6. 漏出時の措置

原体

- 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 : 確実に訓練を受けた従業員のみにより清掃が行われるようにする。項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する予防措置 : 土壌、地表水または地下水との接触を避ける。
- 封じ込めおよび浄化方法と機材 : 安全に対処できるならば漏洩を止めること。漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。微量残存物は水で流し去る。大量の漏洩の場合、堤を築いて漏洩物の流出を防ぐか、あるいは流出した漏洩液が水路に到達しないようにする。

使用濃度での製品

- 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 : 項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する予防措置 : 環境に対する特別処置は必要ではない。
- 封じ込めおよび浄化方法と機材 : 安全に対処できるならば漏洩を止めること。漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。微量残存物は水で流し去る。大量の漏洩の場合、堤を築いて漏洩物の流出を防ぐか、あるいは流出した漏洩液が水路に到達しないようにする。

項目 7. 取扱い及び保管上の注意

原体

- 安全取扱注意事項 : 皮膚及び目との接触を避ける。取り扱い後は手をよく洗うこと。適切な換気装置の下でのみ使用する。
- 安全な保管条件 : 子供の手の届かないところに置くこと。容器を密閉しておくこと。適切にラベルを貼った容器に保存する。

安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

保管温度 : 5 ° C ~ 40 ° C

使用濃度での製品

安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。 取り扱った後、手を洗うこと。

安全な保管条件 : 子供の手の届かないところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 適切にラベルを貼った容器に保存する。

項目 8. ばく露防止及び保護措置

原体

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : 効率のよい排気ガス換気システム。 空気濃度を職業暴露基準以下に保つ。

保護具

眼の保護具 : サイドシールド付き安全眼鏡

手の保護具 : 特別の保護具は必要ない。

皮膚及び身体の保護具 : 特別の保護具は必要ない。

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。 汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。 取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。

使用濃度での製品

設備対策 : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

保護具

眼の保護具 : 特別の保護具は必要ない。

手の保護具 : 特別の保護具は必要ない。

皮膚及び身体の保護具 : 特別の保護具は必要ない。

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

項目 9. 物理的及び化学的性質

| | 原体 | 使用濃度での製品 |
|----|----------|----------|
| 外観 | : 液体 | 液体 |
| 色 | : 透明, 緑色 | 緑色 |

安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

| | | |
|-----------------|----------------------------|-----------|
| 臭い | : フローラル | フローラル |
| pH | : 6.0 - 9.0, 100 % | 5.5 - 8.0 |
| 引火点 | : 該当せず | |
| 臭いの閾値 | : データなし | |
| 融点・凝固点 | : データなし | |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲 | : データなし | |
| 蒸発速度 | : データなし | |
| 燃焼性 (固体、気体) | : データなし | |
| 爆発範囲 上限 | : データなし | |
| 爆発範囲 下限 | : データなし | |
| 蒸気圧 | : データなし | |
| 蒸気密度 | : データなし | |
| 比重 | : 1.0 - 1.015 | |
| 水溶性 | : 可溶性 | |
| 溶媒に対する溶解性 | : データなし | |
| n-オクタノール／水分分配係数 | : データなし | |
| 自然発火温度 | : データなし | |
| 熱分解生成物 | : データなし | |
| 動粘度 | : データなし | |
| 爆発特性 | : データなし | |
| 酸化特性 | : この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。 | |
| 分子量 | : データなし | |
| VOC 揮発性有機化合物 | : データなし | |

項目 10. 安定性及び反応性

原体

| | |
|---------------|---------------------------|
| 化学的安定性 | : 通常の状態では安定。 |
| 危険有害反応性の可能性 | : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 |
| 避けるべき条件 | : 知見なし。 |
| 不適合物質 | : 知見なし。 |
| 危険有害性のある分解生成物 | : 炭素酸化物 |

項目 11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報 : 吸入した場合, 眼に入った場合, 皮膚接触

健康に及ぼす潜在的影響

安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

原体

| | |
|--------|---------------------------|
| 眼 | : 強い眼刺激。 |
| 皮膚 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |
| 摂取 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |
| 吸入した場合 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |
| 長期的曝露 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |

使用濃度での製品

| | |
|--------|---------------------------|
| 眼 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |
| 皮膚 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |
| 摂取 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |
| 吸入した場合 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |
| 長期的曝露 | : 通常の使用条件下での健康障害は知られていない。 |

人体に対する暴露体験

原体

| | |
|---------|---------------|
| 眼に入った場合 | : 発赤, 痛み, 刺激性 |
| 皮膚接触 | : 症状は知られていない。 |
| 飲み込んだ場合 | : 症状は知られていない。 |
| 吸入した場合 | : 症状は知られていない。 |

使用濃度での製品

| | |
|---------|---------------|
| 眼に入った場合 | : 症状は知られていない。 |
| 皮膚接触 | : 症状は知られていない。 |
| 飲み込んだ場合 | : 症状は知られていない。 |
| 吸入した場合 | : 症状は知られていない。 |

毒性

原体

| | |
|--------|--------------------------|
| 急性経口毒性 | : 急性毒性推定値: > 5,000 mg/kg |
|--------|--------------------------|

安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

| | |
|-----------------------|---------|
| 急性吸入毒性 | : データなし |
| 急性経皮毒性 | : データなし |
| 皮膚腐食性 / 刺激性 | : データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性 | : データなし |
| 呼吸器または皮膚感作性 | : データなし |
| 発がん性 | : データなし |
| 生殖への影響 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |
| 催奇形性 | : データなし |
| STOT - 1 回暴露 | : データなし |
| STOT - 反復暴露 | : データなし |
| 吸引性呼吸器有害性 | : データなし |

成分及び含有量

| | |
|--------|---|
| 急性経皮毒性 | : ポリ（オキシエチレン）=アルキルエーテル LD50 ウサギ: > 2,000 mg/kg |
|--------|---|

項目 12. 環境影響情報

原体

生態毒性

| | |
|----------|------------|
| 環境に与える影響 | : 水生生物に有害。 |
|----------|------------|

製品

| | |
|-------------------------|---------|
| 魚毒性 | : データなし |
| ミジンコ他の水生無脊椎動物 に対する毒性 | : データなし |
| 藻類に対する毒性 | : データなし |

成分及び含有量

| | |
|-----|---|
| 魚毒性 | : ポリ（オキシエチレン）=アルキルエーテル 96 h LC50 魚: 1.5 mg/l |
|-----|---|

成分及び含有量

| | |
|----------|---|
| 藻類に対する毒性 | : キシレンスルホン酸ナトリウム 96 h EC50: 230 mg/l |
|----------|---|

残留性と分解性

データなし

生物蓄積性

データなし

土壌中の移動度

安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

データなし

他の有害影響

データなし

項目 13. 廃棄上の注意

原体

廃棄方法 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。可能ならば、廃棄や焼却処理よりリサイクルする方が好ましい。再利用が困難な場合、地域の条例に遵守して処分する。認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。

廃棄上の注意 : 製品入り容器と同様に処分する。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。空の容器を再使用しない。

使用濃度での製品

廃棄方法 : 可能ならば、廃棄や焼却処理よりリサイクルする方が好ましい。再利用が困難な場合、地域の条例に遵守して処分する。認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。

廃棄上の注意 : 製品入り容器と同様に処分する。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。空の容器を再使用しない。

項目 14. 輸送上の注意

原体

運送業者/委託者/送り主は、包装、ラベル、標識及び標札が選択された交通手段の法規に従っていることを確認する責任がある。

陸上輸送 (DOT)

非危険物

海上輸送 (IMDG/IMO)

国連番号 : 3082

商品の記述 : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
(Alcohol ethoxylate)

国連分類 : 9

包装等級 (P G) : III

海洋汚染物質 : はい

使用濃度での製品

輸送されることは意図されていない。

項目 15. 適用法令

原体

安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

EPCRA – Emergency Planning and Community Right-to-Know (緊急事態計画および地域住民の知る権利法)

CERCLA 報告すべき量

この材料はCERCLA RQのいかなる成分も含まない。

SARA 304 の非常に危険有害な物質 報告すべき量

この材料はセクション304 EHS RQのいかなる成分も含まない。

SARA 311/312 項目 : 健康に対する急性の危険有害性

SARA 302 : <** Phrase language not available: [JA] CUST – N15.00190070
**>

SARA 313 : <** Phrase language not available: [JA] CUST – N15.00190080
**>

California Prop 65

この製品は、がん、出生異常、またはその他の生殖障害を引き起こすことが、カリフォルニア州で知られているいかなる化学品も含んでいない。

この製品の成分についての登録情報:

1907/2006 (EU) :
未決定

スイス New notified substances and declared preparations :
未決定

USA TSCA Inventory :
TSCAに記載されている。

カナダ Domestic Substances List (DSL) :
この製品の全成分はカナダDSLに記載されている。

オーストラリア Industrial Chemical (Notification and Assessment) Act :
未決定

ニュージーランド Inventory of Chemicals (NZIoC), as published by ERMA New Zealand :
未決定

日本 既存化学物質リスト :
未決定

日本. ISHL- 安衛法化学物質 :
未決定

韓国 Korean Existing Chemicals Inventory (KECI) :
未決定

フィリピン Philippines Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS) :
未決定

中国 Inventory of Existing Chemical Substances :

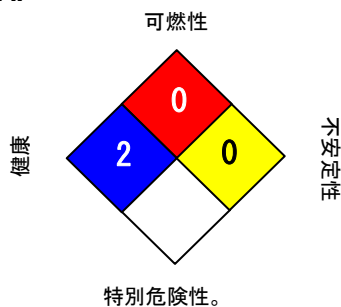
安全データシート

OASIS CLEAN ESCAPE

未決定

項目 16. その他の情報

原体
NFPA:

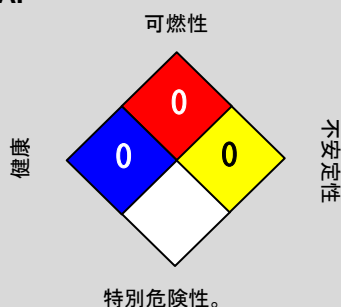


HMIS III:

| | |
|-----------|---|
| 健康 | 2 |
| 可燃性 | 0 |
| 物理的な危険有害性 | 0 |

0 = 強くはない, 1 = わずかな,
2 = 中程度の, 3 = 高い
4 = Extreme, * = 慢性

使用濃度での製品
NFPA:



HMIS III:

| | |
|-----------|---|
| 健康 | 0 |
| 可燃性 | 0 |
| 物理的な危険有害性 | 0 |

0 = 強くはない, 1 = わずかな,
2 = 中程度の, 3 = 高い
4 = Extreme, * = 慢性

作成日 : 06/18/2015
版番号 : 1.0
担当部署 : 製品法規管理室

改訂情報: 本改訂に際しての法令または健康情報への多大な変更は、SDS の左側余白にあるバーによって示されている。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。